

(仮称)「秋田市新エネルギービジョン」骨子原案

1 本市の現状とビジョンの方向性

本市では、恵まれた風況、豊富な森林資源、国の制度等を背景に、全国に先駆けて新エネルギーの導入が進んでいる。

新エネルギー関連産業は、建設や部品製造、メンテナンスなど裾野が広く、多くのビジネスチャンスがあることから、本市において、これら関連産業の振興、発展に重点を置いた施策展開を強力に推進するため、取組の方向性を定める(仮称)「秋田市新エネルギービジョン」を策定するものである。

このビジョンでは、従来の新エネルギーの導入拡大を図る施策から一步進み、豊富な新エネルギーの活用による関連産業の誘致や参入が進む「新エネルギー産業の集積地」となることを目指すほか、市域で生み出されたクリーンエネルギーや環境価値を市域で循環させる、いわゆる「エネルギーの地産地消」による、経済と環境の好循環を実現する「新エネルギーの先端都市」に向けた方向性を描くものとする。

2 ビジョンの骨子原案

○基本理念(案)

「エネルギー産業の集積地づくりとクリーンエネルギーの地産地消の実現」

基本方針 1 洋上風力発電等を活用した関連産業の創出

- 施策Ⅰ 洋上風力発電関連産業の振興
- 施策Ⅱ 陸上風力発電関連産業の振興
- 施策Ⅲ 風力発電以外の発電における関連産業の振興
- 施策Ⅳ 水素、アンモニアなどの次世代エネルギー産業の振興
- 施策Ⅴ 使用済み発電部品のリサイクル産業の振興

基本方針 2 クリーンエネルギーの地産地消

- 施策Ⅰ AI、ICTを活用した自立分散型エネルギーシステムの構築
- 施策Ⅱ クリーンエネルギーの調達および利活用
- 施策Ⅲ 水素、アンモニアなどへのエネルギー転換

基本方針 3 市域内の新エネルギー導入促進

- 施策Ⅰ 本市沖における洋上風力発電の円滑な導入
- 施策Ⅱ 再生可能エネルギー発電所の新規立地促進およびリプレイスの促進
- 施策Ⅲ 市内事業者への太陽光発電などの導入支援

3 ビジョンの計画期間

令和 6 (2024) 年度から令和 15 (2033) 年度までの 10 年間